平成 27 年度事業 事後評価・決算 事務事業マネジメントシート

Ę	事務事業名 吉田総合センター	庁舎管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課 自治振興課	
総		ち≪協働・行政経営≫	所属G	自治振興グループ	課長名 河角郁夫	
合	施策名 〈05〉時代にあった行政サービスの実現			田部健治	電話番号 0854-74-0211	
計	目 対 行政機能	音		山印姓石	(内線) 4413	
画	的象別或版能	物 象 り 一			事市有施設等管理事業	
体工	基本事業名 〈016〉公共施設の適	正管理	予算科目	0:1:1:0:0:3 業名		
糸	計 対 行政機能 的:象	意 公共施設を適正に管理する。		項 目 中事業 中 0:5:3:0:0:2 業	事 庁舎管理事業	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 □ 単年度のみ

☑ 単年度繰返

(16年度~)

□ 期間限定複数年度

年度~ 年度)

② 事業内容

(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

吉田総合センター庁舎の維持管理・警備業 務や吉田健康福祉センターの夜間休日にお ける警備業務に係わる事業。

(2)事務事業の手段・指標

① 主な活動 27年度実績(27年度に行った主な活動) · 庁舎警備委託処理業務

・光熱水費等支払い業務

・間仕切りカーテンの設置 ・カウンターの出入り口の修繕

総合センター裏急傾斜地崩壊対策事業に 段 伴う移設工事の実施。

28年度計画(28年度に計画する主な活動)

·庁舎警備委託処理業務 ・光熱水費等支払い業務

25年度 26年度 27年度 28年度 ② 活動指標 単位 (実績) (実績) (実績) (計画) 稼働日数(吉田総合センター) Н 365 365 366 365 稼働日数 日 365 365 366 365 (吉田健康福祉センター) ゥ 委託件数 件 6 6 6

(3) 事務事業の目的・指標

	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	①吉田総合センター庁舎(吉田健康福祉	ア	管理対象施設	件	1	1	1	1
	センター)施設 ②雲南市民	イ	雲南市人口	人	40,055	39,472	38,990	38,968
E		ウ						
Á	勺② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	・庁舎を適切に維持することにより市民や 来庁者の利便性・快適性を高める。	ア	修繕箇所	件	8	6	5	5
	・施設の適正な維持管理を行うことにより、 吉田町の基幹的な行政施設また地域の防	イ	庁舎施設に係る苦情件数	件	3	1	0	0
	災拠点施設として長寿命化を図っていく。	ウ						

(4) 車 敦 車 巻 の コフト

(4) 事務事業のコスト								
① 事業費の内訳(2	7年度決算)		② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
役務費	276千円		ュ 国庫支出金	千円				
需用費(光熱水費等)	1,258千円		財 県支出金	千円			2,415	
需用費(消耗品)	211千円	争業	^{//} 地方債	千円				
需用費(燃料費)	191千円		訳その他	千円			66	76
需用費(修繕費)	103千円	54	一般財源	千円	9,942	8,863	8,618	8,520
委託料(宿日直業務等)	6,778千円		事業費計(A)	円	9,942	8,863	11,099	8,596
使用料及び賃借料	133千円	人	正規職員従事人数	人	2	2	2	
工事請負費	2,099千円	件	延べ業務時間	時間	300	290	350	
備品購入費	50千円	費	人件費計(B)	千円	1,168	1,128	1,370	
(計	11.099千円)		~一タルコスト(A)+(B)	千円	11,110	9,991	12,469	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始 時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)

② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)

③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)

務所内に空きスペースができている。H27年 火災警報受信機の整備。施設修繕を随時 度から庁舎裏急傾斜地崩壊対策事業開始。 H27年度に耐震検査が行なわれ、耐震基準 努めている。 に基づき継続的なメンテナンスにより建物の 使用は可能との判断が得られた。

総合センターは職員数と課の減少により、事 庁 舎 の 節 電 等 経 費 節 減 の 実 施 。 実施し、総合センター庁舎の長寿命化に

旧耐震基準の建物であり、H27年度に耐震診断が実施さ れ、その結果当面は耐震改修の必要が無い判定が出され た。この結果を基に、今後の総合センター庁舎の整備につ いて検討が必要となっている。市民の方からは、トイレの 改修が必要とのことや。カウンターが高いといった意見も 出されている。

所属部 吉田総合センター

所属課 自治振興課

2	事後評価	(SEE)
---	------	-------

2	争侈	2評価	[SEE]					
	(1) I	汝策体	系との整合性	この事務事業の目	目的は市の政	策体系に結びつくか?	? 意図することが結びついているか?	見直し余地があるとする理由
	Г		直し余地があ		びついて		* 余地がある場合	⇒
Α				O 101	10. 20. (
目	2 4	八土即	与の妥当性	たぜこの主要を古	が行わたけ	わげたたないのかっ	・ 税金を投入して達成する目的か?	
的								<u>_</u>
妥		□ 見[直し余地があ	る 🕨 🕏	き当である		* 余地がある場合■	7
当								_
的妥当性	3 🕏	付象∙意	意図の妥当性	対象を限定・追加	ロする必要に	はないか?意図を限	定・拡充する必要はないか?	
11		」 見ī	直し余地があ	る マ 派	切である	, ,	* 余地がある場合■	⇒
				• - ~	_ ,,			
	4) 5	世里の	向上金地 6	世里を向 トさせる全代	も は あるか	? 成里を向トさせる	ため現在より良いやり方ははないか	? 何が原因で成果向上が期待できないのか?
			上余地がある		51000000			の在り方と密接に関わってくるので、現有
			上余地がない					設機能を向上させていく。庁舎内は地域
	Į.		上示地がない		理由		心で有効活用を図りながら心 設として有効活用も検討してし	
						防火の拠点他は	汉として有効活用も快討して	· (°
		- 1 /	L 1 0 - L 10	○ 日 / 御「				
	(<u>5</u>) [§		木止の成果へ	の影響この事	務事業を廃		影響の有無とその内容は?	-
в			響無				ービス提供に大きな影響がな	ある 。
右	Ī.	☑ 影響	譻有		理由	•防災拠点施設	どが維持できない。	
有効					生田			
性								
Ή	6 *	領似事	業との統廃台	҈∙連携の可能性	目的達成	には、この事務事業以	外の手段(類似事業)はないか? ある場	合、その類似事業との統廃合・連携ができるか?
	Г		こ手段がある	* ある場合■				
				連携ができる	や類似事			
				連携ができない	1 75(17) 1		設を維持管理する事業はほ	4×1=+>1×
			山地坑无口	连路75.65.40		心口ピンタール	は政を維持自任する事業はは、	ルバー/みじぃ 。
	_	- 11k1	_ T [D. 1847] \		理由			
	1	/ 1世	こ手段がない					
		+ ₩ =						
	7 4			成果を下げずに事	業費を削減		や工法の適正化、住民の協力など)	
		削)	咸余地がある		業費を削減	休日夜間の時間	間外管理については、現在、	業務委託で対応をしている。管理内容や
		削)				休日夜間の時 時間外の受付(間外管理については、現在、 体制について集約が図れれば	ば、業務委託費の削減も可能であるが、
С		削)	咸余地がある		 業費を削減 理由	休日夜間の時 時間外の受付(間外管理については、現在、	ば、業務委託費の削減も可能であるが、
C 劾		削)	咸余地がある			休日夜間の時 時間外の受付(間外管理については、現在、 体制について集約が図れれば	ば、業務委託費の削減も可能であるが、
C効率	Ē	削減 削減	咸余地がある 咸余地がない		理由	休日夜間の時 時間外の受付 現在の業務内	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれば 容では、委託費を削減する事	ば、業務委託費の削減も可能であるが、 は出来ない。
C効率	Ē	制 注 削 入 人件費	或余地がある 或余地がない (延べ業務時	間)の削減余地	理由	休日夜間の時間 時間外の受付付 現在の業務内な Fげずにやり方のエ	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれば 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ・ 正職員以外や外部委託ができないか?
C 劾	8 7	削減 削減 人件費 削減	域余地がある域余地がない(延べ業務時或余地がある	間)の削減余地	理由 成果を	休日夜間の時間 時間外の受付付現在の業務内 を	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれば 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか	ば、業務委託費の削減も可能であるが、 は出来ない。
C効率	8 7	削減 削減 人件費 削減	或余地がある 或余地がない (延べ業務時	間)の削減余地	理由	休日夜間の時間 時間外の受付付 現在の業務内な Fげずにやり方のエ	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれば 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ・ 正職員以外や外部委託ができないか?
C効率	8 7	削減 削減 人件費 削減	域余地がある域余地がない(延べ業務時或余地がある	間)の削減余地	理由 成果を	休日夜間の時間 時間外の受付付現在の業務内 を	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれば 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ・ 正職員以外や外部委託ができないか?
C効率	8 /	一 削消 入 件費	或余地がある 或余地がない <u>(延べ業務時</u> 或余地がない 或余地がない	間)の削減余地	理由 成果を つ	休日夜間の時 時間外の受付付現在の業務内 現在の業務内 所げずにやり方の工 施設は行政機 い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行する	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C 効率性	8 /	制制制料を関する。	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を つ	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 夫で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 属っていて不公平ではないか? 受益	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C 効率性	8 / 	制制 件 件 削 制 量 是 量 見 見	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担 直し余地があ	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を つ	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行する	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C 効率性	8 / 	制制 件 件 削 制 量 是 量 見 見	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を つ	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 夫で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 属っていて不公平ではないか? 受益	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C効率性 D公平	8 / 	制制 件 件 削 制 量 是 量 見 見	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担 直し余地があ	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を T 理由 事業内容	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 夫で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 属っていて不公平ではないか? 受益	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C 効率性	8 / 	制制 件 件 削 制 量 是 量 見 見	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担 直し余地があ	間)の削減余地の適正化余地	理由 成果を T 理由 事業内容	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 夫で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 属っていて不公平ではないか? 受益	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 字 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな
C 効率性 D 公平性	8 / 「 「 「 「 「 「	削削 大件削削 大件削削 一 大件削削 大件削削 大件削削 大井 大井 大井 大井 大井 大井 大井	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用がない 会・・費用がある である。	問)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果を T 理由 事業内容	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 関として行政事務を執行するが にないか? 受益の場であり公平・公正である	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 「注意を持ちます。」 「注意を持むます。」 「注意を持むまままままままままままままままままままままままままままままままままままま
C 効率性 D 公平性	8 / 「 「 「 「 「 「	削削 大件削削 大件削削 一 大件削削 大件削削 大件削削 大井 大井 大井 大井 大井 大井 大井	或余地がある 或余地がない (延べ業務時 或余地がない 会・費用負担 直し余地があ	問)の削減余地 の適正化余地 る	理由 成果を T 理由 事業内容	休日夜間の時時間外の受付付現在の業務内を Fげずにやり方の工施設は行政機能い。	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 編っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 図を持ちまするはが、 のであり直営管理する以外に手段はな 図を持ちます。 のであり直対できないか? は他と理由)
C効率性 D公平性	8 J N 9 5	人	或余地がある。 或余地がない <u>(延べ地がない</u> 一会・表表を である。 会・表示である。 でる。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 でる。 で	間)の削減余地 の適正化余地 る う	理由 成果を一理由 事業内容	休日夜間の時間 時間外の受付付現在の業務内を 形ででもり方の工施設は行政機関い。 が一部の受益者に 行政事務執行の	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 場として行政事務を執行するが 編っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C 効率性 D 公平性 評価	(1) 1 A	人 一 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	或余地があるい (延余地ががない業務時る 成金・費地がががが、一般である。) である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	問)の削減余地 の適正化余地 る る 評価結果 ▼ 適切	理由 成果を 理由 事業 理由 見 見 直	休日夜間の時間 時間外の受付付現在の業務内を がずにやり方の工施設は行政機関い。 が一部の受益者に 行政事務執行の し余地あり	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 図を持ちまするはが、 のであり直営管理する以外に手段はな 図を持ちます。 のであり直対できないか? は他と理由)
C 効率性 D 公平性 評価の	(8) J (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N)	制削 <u>供削削 機見公</u> 下 的效	或余地があるい 《延二地ががない 業務時るい 《政宗・豊山・公正である。 ・・豊田・である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	問)の削減余地 の適正化余地 る う 評価結果 図 適切 □ 適切	理由 成果を 理由 見見見	休日夜間の時間の時間外の受付付現在の業務内容を対すにやり方の工施設は行政機関い。 が一部の受益者に行政事務執行の に余地ありし余地あり	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 場として行政事務を執行するが 編っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C 効率性 D 公平性 評価の総	(8) J (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N) (N)	人 一 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	或余地があるい 《延二地ががない 業務時るい 《政宗・豊山・公正である。 ・・豊田・である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	問)の削減余地 の適正化余地 る る 評価結果 ▼ 適切	理由 成果を 理由 見見見	休日夜間の時間 時間外の受付付現在の業務内を がずにやり方の工施設は行政機関い。 が一部の受益者に 行政事務執行の し余地あり	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C 効率性 D 公平性 評価の	8 / F	制削 <u>供削削 機見公</u> 下 的效	或余地がない (或余地がなない (或余・費地である。 全し公正である。 会し公正である。 会性性性	問)の削減余地 の適正化余地 る う 評価結果 図 適切 □ 適切	理 東 理 見見見	休日夜間の時間の時間外の受付付現在の業務内容を対すにやり方の工施設は行政機関い。 が一部の受益者に行政事務執行の に余地ありし余地あり	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C効率性 D公平性 評価の総	8 / F	Manage	或余地がない (或余地がなない (或余・費地である。 全し公正である。 会し公正である。 会性性性	間)の削減余地の適正化余地 る。 評価結果 「適適切切切切切切切り	理 東 理 見見見	休日夜間の時間の時間の時間の時間の時間の受付の要素内容を対する。 「ではいったができない。」では、いったのでは、では、いったのでは、できないでは、できないでは、できないでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C効率性 D公平性 評価の総	8 / F	Manage	或余地がない (或余地がなない (或余・費地である。 全し公正である。 会し公正である。 会性性性	間)の削減余地の適正化余地 る。 評価結果 「適適切切切切切切切り	理 東 理 見見見	休日夜間の時間の時間の時間の時間の時間の受付の要素内容を対する。 「ではいったができない。」では、いったのでは、では、いったのでは、できないでは、できないでは、できないでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C効率性 D公平性 評価の総括	(1) 1 1 1 A A E C C C	Manage	或余地がなない (或或 全性性性 性性性 性性性 性性 性性 性性 を は を は を は を は を は	間)の削減余地の適正化余地の適正化余地 る。 評価結果 図適適切切り 図询切り	理 東 理 見見見	休日夜間の時間の時間の時間の時間の時間の受付の要素内容を対する。 「ではいったができない。」では、いったのでは、では、いったのでは、できないでは、できないでは、できないでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、いったのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれは 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するは 高っていて不公平ではないか? 受益 の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んでは として長寿命化を進め、ま	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設
C効率性 D公平性 評価の総括 3	(1) 1 1 4 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		或余地がない (或余・ (或余・ 変え・ 変え・ 変え・ 変え・ 変え・ 変え・ 変え・ 変え	間)の削減余地の適正化余地の適正化余地 る。 評価結果 図適適切切り 図询切り	理 東 理 見見見見	休日夜間の時間の時間の時間の時間ではいる。 「ボージリカの工施」ではいるのでは、 が一部のである。 が一部のである。 が一部のである。 が一部のである。 が一部のである。 が一部のでは、 が一部のである。 がいる。 ししししししししししし	間外管理については、現在、 本制について集約が図れれに 容では、委託費を削減する事 大で延べ業務時間を削減できないか 関として行政事務を執行するが 関として行政事務を執行するが にないないか? 受益の場であり公平・公正である ② 1次評価結果の総括(庁舎は、老朽化が進んではとして長寿命化を進め、まている。	ば、業務委託費の削減も可能であるが、は出来ない。 ② 正職員以外や外部委託ができないか? 場であり直営管理する以外に手段はな 本者負担が公平・公正か? 根拠と理由) いるが、地域の行政・防災等の拠点施設

3 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 総合センターは縮小するが今後も住民にとって地域の拠点施設として行政機能は維持する。一方で、災害時の指定避難所として地域の防災拠点施設としての機能も持たせる。	コスト 削減 維持 増加 向上 成維 × 甲低下 × ×
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向 上しない、もしくはコスト維持で成果低下で は改革・改善とはならない。